



H31/1/15発行 No493

学校だより「望 岳」

石狩市立花川中学校

校長 古川 広光

【学校教育目標】

- ・自ら考え、進んで真理を求め、創造する生徒 (希望)
- ・ひろい豊かな心をもち、礼儀正しく思いやりのある生徒 (誠実)
- ・正しく判断し、責任と勤労を重んじて協力しあう生徒 (公正)
- ・心身をきたえ、すこやかで何事にもねばり強くやめく生徒 (剛健)

『望みの郷の創造』～君たちはどう生きるか～

校長 古川 広光

新年あけましておめでとうございます。皆様健やかに新年をお迎えのことと拝察申しあげます。昨年中は、本校の教育活動に対しまして、様々な面でご理解とご協力をいただきありがとうございました。今年は「亥」年。がむしゃらに突き進むその姿から、「向こう見ずに事を進める」といった、やや良くないイメージを浮かべてしまいがちですが、時と場合によっては、しっかりと前を向き、脇目も振らず、志や夢、目標に向かって失敗を恐れずに「猪突猛進」することも子どもたちには大切にしてほしいと思います。

さて、吉野源三郎原作の『君たちはどう生きるか』は、昭和12年の本にもかかわらず、100万部突破のベストセラーとなり、子どもたちが読みやすいように漫画本としても出版されています。

「ものの見方」や「人間同士のつながり」、そして「友だちへの裏切り」「いじめの対応」等、中学校2年生の主人公が、日常生活で直面するさまざまな問題を通して、叔父さんと一緒に生き方を考えながら成長して行く物語で、本校の図書室にも小説、漫画本とも蔵書され多くの生徒が目にして

いる作品でもあります。物語の中で、仲間が上級生に絡まれ、殴れている時に助ける事が出来ず、2週間近く悩み学校に行けないというシーンがあります。悩み続ける主人公に叔父さんは、「いま君は大きな苦しみを感

じている。なぜそれほど苦しまなければならないのか。それは、君が正しい道に向かおうとしているからなんだ。君が正しい生き方を強く求めているからだ。」と論し、その解決に向け「自分で答えを見つけよう。人間は、自分で自分を決定する力を持っている。そこから、あらたな一歩を踏み出すことができる。」と励まします。

今年度も、未来を託す子どもたちに次世代を力強く生き抜いていくことができる資質や能力をし

人権作文コンテスト表彰

12月に札幌ファクトリーで表彰を受けた3年2組
三浦璃久くん(優秀賞/左図)と同じく、12月に
校長室で表彰を受けた3年2組吉田一貴くん(佳作
/右図)と3年4組齊藤理琴さん(奨励賞/右図)



三浦くん



齊藤さん 吉田くん

花川中学校がユネスコスクールに承認されました



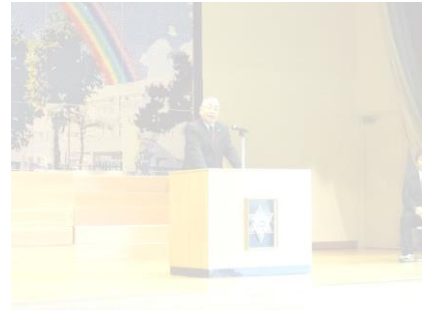
承認プレートを受け取る生徒会長

2年1組 榎 有紗さん



北海道ユネスコ連絡協議会

秋庭 一憲 事務局長



鎌田 英暢 教育長

本校は今年度より ESD（持続可能な社会づくりの担い手を育むための教育）の推進を目的として「ユネスコスクール」として承認されました。今後も書き損じはがきの回収に関わる世界寺子屋運動への参加など、日常の生徒会活動をベースにしながら人権教育や環境教育への活動を進めていきます。

＜ユネスコスクールとは？＞

ユネスコの理想を実現するため、平和や国際的な連携を実践する学校であり、ユネスコが認定する学校。現在、世界 180 以上の国・地域で 11,000 校以上、日本国内で 1,033 校が認定。（平成 30 年 6 月現在）石狩市では花川中学校の他に双葉小学校・生振小学校・石狩中学校の 4 校が認定されています。



冬休み学習会開催

12月26日・27日の2日間、希望者を対象に冬休みの学習会が開催されました。参加した生徒は日頃知識が不確かな分野についての課題に取り組み、真剣に担当の教師に質問する姿が見られました。（写真は3年生の英語の学習会の様子）



PTA 図書整備作業

12月26日・27日・28日の3日間、PTA サポーター活動として「学校図書整備作業」が行われました。悪天候の日があったにも関わらず、サポーターの皆様には学校図書館や学級文庫の整理などを手際よく取り組んでいただきました。



石狩消防出初式に参加

1月7日、花川北コミュニティセンターで「石狩消防出初式」が開催されました。本校の吹奏楽部の生徒が入場行進曲を演奏しました。大ホールがびっしりと消防団や来賓、一般観客で埋まる中、華やかな式典の進行に一役買っていました。